

## A 企画展「船解剖スル〜谷井建三原画の世界〜」開催中! 日本郵船歴史博物館



三菱の創業者岩崎彌太郎による誕生秘話から現代に至るまで、日本郵船の130年にわたる歴史を紹介する博物館です。5月2日(土)、4日(月)〜6日(水)には当館館長代理が常設展示について解説をします。また企画展コーナーでは6月28日(日)まで船体断面図に焦点をあてた「船解剖スル〜谷井建三原画の世界〜」をお楽しみください。さらに7月4日(土)からは日本郵船創業130周年に因んだ特別展を開催予定です。

■所在地: 神奈川県横浜市中区海岸通3-9 ■見学時間: 10:00〜17:00 (最終入館16:30) ■休館日: 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館) ■アクセス: みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩2分 ■入館料: 一般400円/65歳以上・中高生250円/小学生以下無料 ■お問い合わせ先: 045-211-1923 <http://www.nyk.com/rekishi/>

## B ビールに歴史あり、恵比寿にエビスビール記念館あり エビスビール記念館

「エビスビール記念館」は、街の名になったエビスを五感で楽しんで頂けるアミューズメント施設です。貴重な資料・映像を元に歴史を紹介するエビスギャラリー、美味しいおつまみとエビス各種を味わえるテイスティングサロン、縁起の良い恵比寿様モチーフやグラスなどオリジナルグッズを揃えたミュージアムショップと、上質な空間でエビスの世界をご堪能いただけます。中でも一番のおススメは「エビスツアー」(40分・大人500円、小学生以下無料)。親子で125年分のエビスの歴史やうんちくを楽しみながら学べます。

■所在地: 東京都渋谷区恵比寿4-20-1 恵比寿ガーデンプレイス内 ■見学時間: 11:00〜19:00 ■休館日: 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)、年末年始 ■アクセス: 地下鉄日比谷線恵比寿駅、JR恵比寿駅から徒歩8分 ■入館料: 入館料は無料、エビスツアー、テイスティングサロンは有料です。 ■お問い合わせ先: 03-5423-7255 [http://www.sapporobeer.jp/brewery/y\\_museum/](http://www.sapporobeer.jp/brewery/y_museum/)



## C ノリタケの森 クラフトセンター・ノリタケミュージアム 文化に出会い、森に憩う

洋食器メーカー「ノリタケ」が本社工場跡地に建てた産業観光施設。約48,000㎡の緑あふれる園内には、陶磁器の製造工程の見学や絵付け体験(有料)ができるほか、「オールドノリタケ」を展示するクラフトセンター・ノリタケミュージアムをはじめ、レストランやカフェ、ショップなどが点在しています。ノリタケの歴史や技術を紹介するウェルカムセンターも3月にリニューアルオープン。GWの期間中は「森のファミリーフェスティバル」と題した様々なイベントを開催します。

■所在地: 名古屋市西区則武新町3-1-36 ■見学時間: 10:00〜17:00 (絵付け体験の受付は16:00まで) ■休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日) ※5/4(月)は営業 ■アクセス: ◎車/名古屋駅より5分、駐車場125台 ※100円/30分 ※ご利用合計額5,000円以上の方は終日無料 ◎電車/JR・名鉄・近鉄「名古屋駅」より徒歩15分、地下鉄東山線「亀島駅」2番出口より徒歩5分 ◎バス/名古屋駅市バス10番のりば名駅13系統→3分「ノリタケの森」下車 ■入館料: 大人・学生500円、高校生300円、中学生以下・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方は無料(ノリタケの森への入園は無料) ■お問い合わせ先: 052-561-7114 <http://www.noritake.co.jp/mori/>



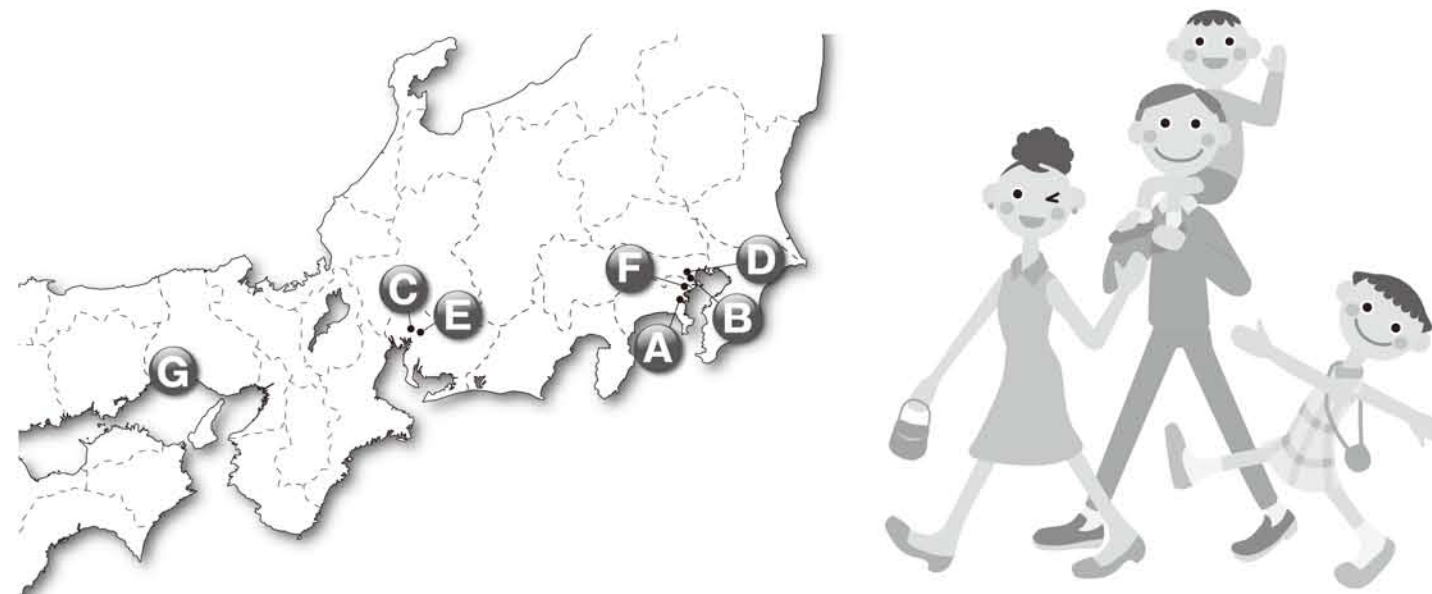
## D 印刷博物館 「ヴァチカン教皇庁図書館展Ⅱ 書物がひらくルネサンス」



写真: ヴァチカン教皇庁図書館外観、ペルヴェテールの中庭  
© 2015 Biblioteca Apostolica Vaticana

「ヴァチカン教皇庁図書館展―書物の誕生」(2002年)開催から13年目となる2015年。〈書物〉と〈ルネサンス〉をテーマにした第2回展を開催しています(会期: 4月25日[土]〜7月12日[日])。ヴァチカン教皇庁図書館が誕生した15世紀、旧来の手写本や、新たに登場した活字本、そして書物を飾ろうという要望にこたえて生まれた木版・銅版画は、書物の輝きを推進する役割を果たします。ルネサンスと共に書物の再生が訪れました。本展は、ヴァチカン教皇庁図書館所蔵の中世写本、初期刊本、地図、書簡類計21点を中心に、計69点を展示、ルネサンス精神の比類なき生き証人である書物の魅力に迫る企画展です。

■所在地: 東京都文京区水道1丁目3番3号 トッパン小石川ビル ■見学時間: 10時〜18時(入場は17時30分まで) ■休館日: 毎週月曜日(ただし5月4日(月・祝)は開館)、5月7日(木) ■アクセス: 飯田橋駅(JR総武線(東口)、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線(B1出口)、都営大江戸線)より徒歩13分 ■入館料: 一般800円、学生500円、中高生300円、小学生以下無料 ※20名以上の団体は各50円引き、※65歳以上の方は無料、※身体障害者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方は無料、※5月5日(火・祝)こどもの日は入場無料 ■お問い合わせ先: 03-5840-2300 <http://www.printing-museum.org/>



企業が自社の企業活動のテーマや技術、専門知識について一般の人にも理解を深めてもらうために公開している企業ミュージアム。身近な製品やサービスの仕組みや成り立ちなど、生きた知識に触れられる場として人気が高い。様々な体験コーナーがあったり、子供でも楽しみながら学べる工夫がされているところも多く、家族連れにもおすすめです。また地場産業と密接に結びついている場合が多いので、ミュージアムを訪れることで、その地域の歴史などを学ぶこともできる。ゴールデンウィークの旅行先に組み入れ、観光だけに留まらない知的な刺激にあふれた休暇にしてみては。

# ゴールデンウィークは企業ミュージアムに行こう

## E ヤマザキマザック美術館 18世紀フランス宮廷時代へタイムスリップ!



ヤマザキマザック美術館は、工作機械メーカー、ヤマザキマザック株式会社を母体として2010年4月に開館しました。貴族の邸宅を彷彿とさせる内装の中に展示された18世紀ロココ絵画、19世紀末に流行したアール・ヌーヴォー様式の家具やガラス工芸コレクションが特徴です。現在は「世界に挑んだ明治の美―宮川香山とアール・ヌーヴォー」展も開催中。超絶技巧と名高い宮川香山の陶芸や、明治の職人技に触発され影響を受けたガレ、ラリックらの作品を紹介します。

■所在地: 愛知県名古屋市中区葵1-19-30 ■見学時間: 平日10:00〜17:30 (最終入館17:00)、土・日・祝10:00〜17:00 (最終入館16:30) ■休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日休館) ■アクセス: 名古屋駅地下鉄東山線「新栄町」駅(1番出口)直結 ■入館料: 現在企画展開催中につき一般1,300円、18歳未満600円、小学生未満無料、常設展開催時は一般1,000円、18歳未満500円、小学生未満無料 ■お問い合わせ先: 052-937-3737 [www.mazak-art.com](http://www.mazak-art.com)

## F 東芝未来科学館 GWは、作って、見て、触って、科学と遊ぼう!



2014年春、リニューアルオープンした東芝未来科学館にはすでに50万人の方が来場し、お楽しみいただいています。「人と科学のふれあい」をテーマに、エントランスのウェルカムゾーンからはじまり、創業者のゆかりの品々や歴代の製品を展示したヒストリーゾーン、現在から未来にわたる最先端技術を展示したフューチャーゾーン、科学実験やワークショップを行うサイエンスゾーンなど、近未来の社会・生活シーンを見据えた先端技術を、親子で体験しながら楽しめるアミューズメントが満載です。GW中は「理科でドン!大運動会」などカラダを使って楽しむ科学館ならではのイベントや水素エネルギーに関連したイベントを企画しています。ぜひご家族でご来館ください!

■所在地: 神奈川県川崎市幸区堀川町72番34号リーナ川崎東芝ビル2F ■見学時間: 火〜金曜日10:00〜18:00、土・日・祝10:00〜19:00 ■休館日: 月曜日・当館の定める日(ホームページをご覧ください) ■アクセス: JR川崎駅西口より徒歩1分、京浜急行線川崎駅より徒歩7分 ■入館料: 無料 ■お問い合わせ先: 044-549-2200 <http://toshiba-mirai-kagakukan.jp/>

### 「企業ミュージアム」に関するアンケートにお答えください

【締め切り】  
2015年  
5月11日(月)

それぞれ個性ある魅力的な「企業ミュージアム」をご紹介しました。いかがでしたでしょうか?ぜひ、ゴールデンウィークにご家族でお出かけください。今回、「企業ミュージアム」に関するアンケートを実施します。アンケートにお答えをいただいた方の中から、抽選で図書カード(500円分)を20名様にプレゼントします(賞品は広告主提供)。

応募方法は右記のサイトから

<http://adnet.nikkei.co.jp>

または **日経アドネット** で検索

※ご応募いただいたアンケートは個人情報を外し、統計処理にかけた上で、広告主に提供します。ご了承の上、応募ください。  
※お申し込みは一人につき、1回でお願いします。※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

## G うすくち醤油発祥の地で学ぶ醤油造りの歴史 ヒガシマル うすくち龍野醤油資料館

たつの市は、播磨の小京都とも呼ばれ、今もなお城下町の面影が残る山紫水明、揖保川の伏流水、播磨平野の豊かな小麦、山間部の良質の大豆、赤穂の塩など、立地条件に恵まれ発展した淡口(うすくち)醤油発祥の地です。「うすくち龍野醤油資料館」の建物はレンガ造りのルネッサンス様式で、旧龍野市では初の国登録有形文化財に指定されています。江戸時代からの貴重な醤油醸造用具や資料など計2400点余りを展示しており、その一つひとつに代々龍野の地で醤油を造り継いできた先人の知恵や工夫を感じることができます。

■所在地: 兵庫県たつの市龍野町大手54-1 ■見学時間: 9:00〜17:00 (入場は16:30まで) ■休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)となり、翌火曜日が休館(本年度のGWは開館しております) ■アクセス: JR姫新線「本竜野」駅下車、徒歩20分 ■入館料: 10円 ■お問い合わせ先: 0791-63-4573 <http://www.higashimaru.co.jp/enjoy/museum/>

